



10月23日(金)生徒会主催の『サツマイモ収穫会』を行いました。

例年は、6月にサツマイモの苗を石見幼稚園の園児の皆さんと一緒に植え、10月に園児の皆さんと屋間部の皆で一緒に収穫会を行います。そして、収穫したサツマイモを石見幼稚園にプレゼントしていました。この交流会は、今の校舎が建ってから、ずっと続けている行事です。しかし、今年は、「コロナ禍」ということで、幼稚園との交流会は無くなりました。

収穫会は、最初に多目的室に全員が集合し、大まかに会のながれを生徒会執行部の説明を聞いて理解し、各学年毎に畑に移動しました。生徒の中には、初めてサツマイモを収穫する…という人もいたのではないのでしょうか。

心配していたサツマイモの成長も問題なく、「大きいね!」「いっぱいあるぞ!」等の皆さんの声に象徴されるように、沢山のサツマイモを収穫できました。

今回の収穫に際し、準備(草取り、芋づるの切断等)を3年の皆さんが協力して取り組んでくれました。今年は、梅雨が長かったのでイモの成長を心配しました。しかし、さすがサツマイモ…我々の心配をよそに大きな実を付けてくれました。

サツマイモはもともと、凶作や飢饉(ききん)に備えて育てられる作物として、その栽培が広がりました。江戸時代の飢饉や最近では第二次世界大戦中と戦後の食糧難の時代をサツマイモは多くの人々の命を救いました。

大田市の石見銀山などで代官を務めた「井戸平左衛門」は、享保の大飢饉の際にサツマイモで人々を飢えから救い、その功績から「イモ代官」と呼ばれて今も人々に親しまれています。

イモ掘り会が終わって皆さんから「疲れました!」という感想が多く聞かれました。また、「イモ掘り会はどうだった?」と質問すると…ほとんどの生徒から「幼稚園児と交流したい!」「園児の皆と一緒にいい!」と答えが返ってきました。皆さんが、この交流会を大切にしてくれている気持ちが伝わり、とっても嬉しくなりました。来年は、園児の皆さんと一緒に活動できると良いですね。

(岩本)

## サツマイモ収穫会



たくさんのサツマイモが収穫できました! 皆さんは、お家でどうやって調理されましたか?



## 生活体験発表島根県大会

10月15日(木)宍道高校で行われた「生活体験発表 島根県大会」に4年Tさん、3年Yさんが学校代表として参加しました。

4年Tさんが見事、優勝されました!  
全国大会(原稿審査)に出品されます。

